



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社 NITTOH

上場取引所 名

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-304-8210

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,308	6.7	61	6.7	70	0.7	45	0.3
2022年3月期第1四半期	2,163	15.1	65		69		45	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 50百万円 (51.5%) 2022年3月期第1四半期 33百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.16	
2022年3月期第1四半期	11.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,619	3,915	59.2
2022年3月期	6,512	3,921	60.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,915百万円 2022年3月期 3,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.00	14.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	6.0	210	30.2	220	28.5	143	27.6	35.28
通期	9,800	5.3	450	10.4	470	8.6	322	23.3	79.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	4,060,360 株	2022年3月期	4,060,360 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	7,257 株	2022年3月期	7,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	4,053,103 株	2022年3月期1Q	4,053,103 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による感染者数の減少により行動制限などが緩和され、経済社会活動の正常化、国内景気の持ち直しへの期待が高まりました。しかしながら、新たな変異株の出現による感染再拡大が懸念される厳しい状況が続いており、依然として、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

海外では、ウクライナ情勢の地政学的リスクによる原材料価格やエネルギー資源価格の高騰をはじめとして、さまざまな経済活動に影響を与える景気下振れリスクや金融市場の下振れリスク、政策動向による不確実性があり、今後、わが国へ与える影響が懸念されております。

このような経済状況のもとで、住宅建築業界におきましては、補助金などの住宅取得促進諸政策の継続、住宅ローン金利の低水準での推移などありましたが、依然として、半導体不足に伴う一部の住宅設備品の不足、原油価格高騰やサプライチェーンの混乱などによる建設資材の価格上昇などの影響があり、本格的な回復には至らない厳しい状況で推移いたしました。

当社グループでは、主に建設工事業において、新築建設物向けの工事件数は低調に推移したものの、既存の戸建住宅向けのリフォーム工事、集合住宅に対する補修・修繕工事、高効率給湯器の取替工事、注文戸建住宅及び分譲建売住宅の売却件数などが増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,308百万円(前年同四半期比6.7%増)、営業利益は61百万円(前年同四半期比6.7%減)、経常利益は70百万円(前年同四半期比0.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円(前年同四半期比0.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて107百万円増加し、6,619百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加192百万円、事務所建設用地の取得に伴う土地の増加59百万円があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産の減少100百万円、棚卸資産の減少52百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて113百万円増加し、2,703百万円となりました。主な増減は、短期借入金の増加200百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少71百万円、長期借入金の減少17百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて5百万円減少し、3,915百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加5百万円があったものの、利益剰余金の減少11百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当四半期におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、2022年5月10日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,314,540	1,506,610
受取手形、売掛金及び契約資産	1,254,735	1,153,830
棚卸資産	877,444	825,022
その他	82,859	82,849
貸倒引当金	△1,368	△1,368
流動資産合計	3,528,212	3,566,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	942,749	930,944
土地	1,617,552	1,677,515
その他（純額）	13,378	25,134
有形固定資産合計	2,573,680	2,633,594
無形固定資産		
その他	8,047	7,849
無形固定資産合計	8,047	7,849
投資その他の資産		
その他	402,837	411,931
貸倒引当金	△400	△430
投資その他の資産合計	402,437	411,501
固定資産合計	2,984,165	3,052,945
資産合計	6,512,377	6,619,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	802,539	730,792
短期借入金	510,000	710,000
1年内返済予定の長期借入金	70,392	70,392
未払法人税等	91,529	23,271
賞与引当金	111,310	57,811
完成工事補償引当金	20,700	18,400
その他	291,391	416,503
流動負債合計	1,897,862	2,027,170
固定負債		
長期借入金	118,432	100,834
退職給付に係る負債	403,947	405,152
長期未払金	9,840	9,840
その他	160,385	160,931
固定負債合計	692,604	676,758
負債合計	2,590,467	2,703,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	3,569,627	3,558,136
自己株式	△1,883	△1,883
株主資本合計	3,899,628	3,888,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,281	27,822
その他の包括利益累計額合計	22,281	27,822
純資産合計	3,921,910	3,915,960
負債純資産合計	6,512,377	6,619,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,163,054	2,308,800
売上原価	1,549,968	1,688,573
売上総利益	613,086	620,227
販売費及び一般管理費	547,211	558,742
営業利益	65,874	61,485
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	757	1,123
受取手数料	747	668
受取保険金	54	3,570
受取賃貸料	4,814	4,827
その他	1,185	1,313
営業外収益合計	7,562	11,503
営業外費用		
支払利息	1,048	1,158
賃貸費用	1,367	1,206
固定資産除却損	1,253	—
その他	1	383
営業外費用合計	3,670	2,747
経常利益	69,766	70,241
税金等調整前四半期純利益	69,766	70,241
法人税、住民税及び事業税	30,249	28,766
法人税等調整額	△5,881	△3,777
法人税等合計	24,367	24,988
四半期純利益	45,398	45,252
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,398	45,252

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	45,398	45,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,879	5,540
その他の包括利益合計	△11,879	5,540
四半期包括利益	33,519	50,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,519	50,793

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,342,462	393,503	424,497	2,160,463	—	2,160,463
その他の収益(注) 2	2,591	—	—	2,591	—	2,591
外部顧客への売上高	1,345,053	393,503	424,497	2,163,054	—	2,163,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	138	138	△138	—
計	1,345,053	393,503	424,635	2,163,192	△138	2,163,054
セグメント利益	20,564	80,098	32,539	133,202	△67,327	65,874

(注) 1. セグメント利益の調整額△67,327千円には、セグメント間取引消去7,133千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△74,461千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,485,886	383,247	437,721	2,306,855	—	2,306,855
その他の収益(注) 2	1,944	—	—	1,944	—	1,944
外部顧客への売上高	1,487,831	383,247	437,721	2,308,800	—	2,308,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	61	61	△61	—
計	1,487,831	383,247	437,782	2,308,861	△61	2,308,800
セグメント利益	25,786	68,316	27,149	121,252	△59,767	61,485

(注) 1. セグメント利益の調整額△59,767千円には、セグメント間取引消去7,543千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△67,310千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間
(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

当社グループは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時点までに入手可能な情報に基づき、経済状況は緩やかに回復に向かうものの、業績への影響は一定期間続くものと仮定し、会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響は不確実性が高く、今後の感染拡大の影響により、会計上の見積りに影響を与える可能性があります。